

2009・2010年度経済見通し(2009年12月改訂)

当社は、7～9月期のGDP統計(2次速報)の発表を受け、経済見通しを改訂しました。日本経済は、円高圧力の高まりやデフレというマイナス要因を抱えながらも、緩やかな回復が続いていくと見込まれます。2010年度初めには、これまでの政策効果の反動により一時的にマイナス成長に陥る可能性があります。新たな経済対策の効果(実質GDP押し上げ効果は0.3ポイント程度)もあり、景気は腰折れするには至らないと考えられます。

実質成長率：2009年度 -2.6%(前回-2.4%)、2010年度 1.4%(前回1.2%)

予測表

年度	2008 実績	今回予測		前回予測(09.11.16)	
		2009 予測	2010 予測	2009 予測	2010 予測
実質 GDP	-3.7	-2.6	1.4	-2.4	1.2
民間消費	-1.8	0.4	0.6	0.2	0.5
住宅投資	-3.7	-17.7	1.9	-19.5	-2.4
設備投資	-6.8	-16.6	2.3	-13.8	2.6
政府消費	-0.1	1.6	0.2	1.6	0.3
公共投資	-6.6	9.8	-6.6	12.6	-7.6
輸出	-10.4	-13.4	7.9	-13.6	7.3
輸入	-4.4	-12.8	3.3	-11.8	2.7
名目 GDP	-4.2	-3.9	1.2	-2.5	0.9
GDP デフレーター	-0.5	-1.2	-0.3	-0.1	-0.3

[実質GDP寄与度]

内需	-2.6	-2.0	0.6	-1.7	0.5
外需	-1.1	-0.6	0.7	-0.7	0.7

(注)単位は前年度比

[四半期]

	2009 → 予測		2010				2011
	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3
実質 GDP (前期比)	0.3	0.4	0.6	-0.1	0.3	0.7	0.8
(同年率)	1.3	1.5	2.2	-0.5	1.4	2.7	3.3

《本件に関するお問い合わせ先》 株式会社富士通総研 経済研究所 上席主任研究員 米山秀隆
電話 03-5401-8392(直通) E-mail: yoneyama.hide@jp.fujitsu.com

* 本資料は内閣府記者クラブにて配布いたしております。